

2026年度東北大学元気・前向き奨学金(修学支援基金)募集案内

東北大学元気・前向き奨学金(修学支援基金)は、経済的な理由で修学が困難な学部学生に対し、月額3万円を支給する給付型奨学金です。

学生の経済的不安を取り除き、安心して修学に専念できる環境を整備するもので、本学に寄せられた寄附金により、2017年度から実施しています。

(1) 対象学生

本学に在籍する学部学生で、以下に掲げるすべての事項に該当し、経済的支援を要する学業成績優秀者

- ・ 2021年度以降入学の学部1～6年生(外国人留学生を除く)
- ・ 応募年度の4月1日現在で25歳未満である者
- ・ 本学の他の給付型奨学金、または他の団体・機関からの給付型奨学金を受けておらず、また受給する予定のない者
- ・ 日本学生支援機構給付奨学金が受給対象外の学生のうち、以下の理由で対象外となった者

- ・ 年収基準
- ・ 学業基準(ただし、現在留年中の者は除く)
- ・ 入学時期(高校卒業後2年以上等)

(2) 支給者数

50名程度

※ 寄付金等の執行状況等に基づき毎年度当初に決定する。

(3) 支給額・支給期間

月額3万円で支給期間は1年間

年額36万円を一括支給する。

(4) 選考・申請方法

申請者の中から、生計維持者(原則、父母)の所得証明書の課税総所得金額の合計額が低い者から順に選考する。

以下の申請書類を申請フォームから提出する。

1. 申請フォーム

上記のリンク、または QR コードから Google form にアクセスのうえ入力。

※ フォームの回答は東北大学アカウントでのみ回答可能です。



2. 市区町村発行の「令和8年度所得(課税)に関する証明書」

- ※ 原則、父母両方。父母が無職または専業主婦(夫)の場合でも提出が必要。一人親の場合は父母いずれか1名分を提出すること。
- ※ 市区町村によって名称が異なる。市区町村役場の窓口にて、使用目的「課税及び所得を証明する旨」を伝え、所得と課税の内訳の記載がある証明書を提出すること。
- ※ マイナンバーが記載された書類は提出不可。マイナンバーの記載がない証明書か、マイナンバー部分を読み取り不可能になるよう黒塗りしてコピーした書類を提出すること。

3. 日本学生支援機構給付奨学金シミュレーションの結果画面

- ※ 日本学生支援機構(JASSO)の給付奨学生でない理由が『年収基準』の場合提出すること。
- ※ [日本学生支援機構の進学資金シミュレーター](#)の給付奨学金シミュレーション(保護者の方向け)を使用し、令和7年分の所得(令和8年度所得に関する証明書の記載内容)に基づいて年収基準のシミュレーションを行うこと。

進学資金シミュレーター



(5) 申請期間

2026年7月1日(水)～7月31日(金)

(6) 選考結果通知

採用となった学生にのみ通知する。

9月下旬頃に学務情報システムで通知予定。

(7) 注意事項

奨学生として決定された者が次のいずれかに該当することとなった場合は奨学生の身分を取り消す。場合により、支給した奨学金の返納を求めることがある。

- ① 退学又は死亡した場合
- ② 学業成績の不良により留年した場合
- ③ 家計好転などの理由により、奨学生から辞退の申し出があった場合
- ④ その他、総長が奨学生を取り消すに足る事由があると判断した場合

【問い合わせ先】

東北大学 教育・学生支援部

学生支援課経済支援係

〒980-8576 仙台市青葉区川内 41

川内北キャンパス教育・学生総合支援センター1階④番窓口

TEL: 022-795-7816

e-mail: shogaku@grp.tohoku.ac.jp

対応時間: 平日 8:30～17:00

例：令和8年度所得(課税)に関する証明書の入力項目

- ※ 令和8年度の証明書は『令和7年分/令和7年1月～令和7年12月』の収入が記載されています。
- ※ 『所得(課税)に関する証明書』は自治体により名称やレイアウトが違います。
- ※ 『課税総所得金額』が記載されている証明書を取得してください。なお、課税総所得金額が記載されない自治体の場合、合計所得金額と所得控除額合計が確実に記載されている証明書を取得してください。

××年度 市民税・県民税 課税証明書

氏名	東北 太郎						
現住所	〇〇市〇〇1-2-3						

××年度	市民税	所得割額	×××円	県民税	所得割額	×××円	年税額	×××円
		均等割額	×××円		均等割額	×××円		

××年中 合計所得金額		×××円	所得控除額合計		×××円
所得の内訳	(給与収入)	×××円	所得控除の内訳	雑損控除	×××円
	給与所得	×××円		基礎控除	×××円
	(公的年金収入)	×××円		生命保険料控除	×××円
	雑所得	×××円		地震保険料控除	×××円
	以下余白			配偶者特別控除	×××円
				扶養控除	×××円
				扶養障害者控除	×××円
		基礎控除	×××円		

【総所得金額等、合計所得金額】		【扶養控除等の内訳】	
総所得金額等	×××円	配偶者控除	扶養親族該当
合計所得金額	×××円	扶養障害者	

【課税標準額】		課税標準額の課税総所得金額を Google Form で入力								
課税総所得金額	×××円	○	-	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
上記以外の課税所得金額	×××円									

上記のとおり相違いないことを証明します。

年 月 日

〇〇市長 〇〇 〇〇